(東北大学版) 2025 年度 ヤング・リーダーズ・サミットプログラム
(2025 ASEF x JIGE 6th Young Leaders Summit BM Program)
募集要項

1 プログラムの概要

関西大学、千葉大学、東北大学の3つの大学が連携して推進する教育および人材育成のイニシアティブ（Japan hub Innovation Global Education, 以下、JIGE）は、オンラインと現地での活動を組み合わせた Blended Mobility (BM)プログラムを通じて、ASEF 若者のリーダーシップ育成を図る新しいプログラムを行います。

2 実施内容

本プログラムは、アジアとヨーロッパの若者を対象に、自分自身の成長（セルフ・リーダーシップ）、チームでの協働（チーム・リーダーシップ）、そして社会全体への貢献（ソーシャル・リーダーシップ）という3つの視点からリーダーシップを総合的に育成し、国際的なつながりと社会課題への主体的な関与を促進するプラットフォームです。第6回目となる今回のテーマは「Society 5.0におけるリーダーシップ」で、バーチャルと対面の両方での活動を通じて、持続可能で包摂的な未来社会の実現に向けた若者の役割と提案を探求します。

対面の活動は、2025年9月29日～10月5日に大阪で開催される2025年国際博覧会（万博）に合わせて行われ、関西大学主催の終日ワークショップや、万博会場でのプレゼンテーション、神戸のJICA 関西センターと阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センターへの訪問などで国際協力や防災の取り組みについて学ぶ現地見学など、様々な分野での体験が予定されています。（詳細な内容については、ASEF ホームページから、[6th ASEF Young Leaders Summit \(ASEFYLS6\) - Asia-Europe Foundation \(ASEF\)](#)）

3 対象

東北大学・千葉大学・関西大学の大学生・大学院生

4 参加人数

各大学から3名 ※応募者多数の場合は調整しますのでご了承ください。

5 実施日時

知識構築フェーズ：2025年7月29日～8月26日（オンライン）

リーダーシップ実践フェーズ：2025年8月27日～9月28日（オンライン）

ユースサミット本会議：2025年9月30日～10月5日（対面）

6 ヤングリーダーズサミット実施場所

9月30日（火）～10月1日（水） 関西大学 千里山キャンパス

10月2日（木） 大阪・関西万博 「電力館可能性のタマゴたち」 屋外ステージ
「TEAM EXPO バビリオン」ステージにて発表

10月3日（金） 午前 神戸 JICA 関西センター・阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター
午後 関西大学 千里山キャンパス

10月4日（土） 関西大学 梅田キャンパス

7 応募資格

- (1) 東北大学・千葉大学・関西大学の大学生又は大学院生であること。
- (2) プログラム開始時点で、18～30歳であること。
- (3) 全プログラムのオンラインセッション及び5日間対面で参加できること。1日のみの参加や途中離脱は原則として認められません。
- (4) 語学力の基準：英語での交流やプレゼンテーションを実施できること。（目安：CEFR B1以上）

8 申込方法

所属大学、学部、氏名（フルネーム）、氏名（英文フルネーム）、連絡がつくメールアドレス、志望動機（英文 200 ワード）、過去に受験した語学試験スコアを、以下の Google Form にて提出してください。

参加希望登録フォーム：<https://forms.gle/TesCZZoh7ommBunD6>

問い合わせ：留学生課海外留学係 sab_query@grp.tohoku.ac.jp

9 応募受付期限

2025年7月15日（火）13:00 まで

10 参加費

無料（万博会場への入場含む）

大阪における宿泊費及び関西大学千里山キャンパスへの交通費は東北大学の規定に従い支給します。

11 プログラムスケジュール（事前の通知なく変更の可能性があります。）

Date	Time	Event
2025年7月29日 ～8月26日	オンライン	知識構築フェーズ eラーニングやオンライン協働を通じて、5週間にわたり Society 5.0 とリーダーシップに関する理論・トレーニング・政策を学びます。週1回のセッションに加え、ハイレベルリーダーとの対話も予定されています
2025年8月27日 ～9月28日	オンライン	リーダーシップ実践フェーズ 参加者はチームを組み、アジア・ヨーロッパ各地の社会課題に対するテクノロジーの活用事例を調査・収集します。これらのケーススタディは、ユースサミットでの発表や出版物としてまとめられます
9月30日（火）	9:00-9:45	開会挨拶・歓迎セッション 主催者・関係機関による歓迎挨拶と記念写真
	9:45-10:30	基調講演「Society 5.0 におけるリーダーシップ」 著名な講演者による Society 5.0 時代のリーダーシップについてのインスピレーションスピーチ

	10:30-11:00	コーヒーブレイク
	11:00-12:30	ダイアログセッション デジタルと現実が融合する Society 5.0 時代に求められるリーダー像やスキルについて、専門家によるパネルディスカッション
	12:30-14:00	昼食休憩
	14:00-15:30	ワークショップ①：交流セッション 参加者同士の関係構築を目的としたアイスブレイク活動と対話
	15:30-16:00	コーヒーブレイク
	16:00-17:30	ワークショップ②：異文化チームビルディング 多文化環境での信頼構築と効果的なチームワークを学ぶ体験型セッション
	17:30-18:00	1日の振り返り・まとめセッション
10月1日(水)	9:00-10:30	ケーススタディ発表① 参加者チームによる「リーダーシップ実践フェーズ」の成果発表。アジアとヨーロッパにおける社会課題解決のためのテクノロジー活用事例を共有
	10:30-11:00	コーヒーブレイク
	11:00-12:30	ケーススタディ発表② 発表の続き
	12:30-14:00	昼食休憩
	14:00-15:30	ダイアログ②：Society 5.0 における価値のバランス インクルーシブ（包摂性）、持続可能性、倫理といった価値とテクノロジーの進化とのバランスをどうとるか、専門家とともに考えるパネルディスカッション
	15:30-16:00	コーヒーブレイク
	16:00-17:30	パラレルディベート：6つの価値対立をテーマに議論 参加者は6つの小グループに分かれ、Society 5.0 の実現における「経済発展」と「包摂性・持続可能性・倫理」とのバランスについて、各分野の専門家と意見交換
	17:30-18:00	1日の振り返り・まとめセッション
	18:00-22:00	カルチュラル・イブニング 参加者による伝統衣装・お菓子・パフォーマンスの紹介を通じて、文化交流を楽しむ夜
10月2日(木)	8:00-9:00	大阪・関西万博への移動
	9:00-18:00	EXPO 2025 (大阪・夢洲) ステージ発表 ・「電力館可能性のタマゴたち」屋外ステージ ・「TEAM EXPO パビリオン」ステージ
10月3日(金)	8:30-10:00	現地訪問への移動(神戸)
	10:00-11:15	スタディビジット①：JICA 関西(神戸) 国際協力と人材育成の拠点である JICA 関西センターを訪問し、

		災害管理や産業発展などの国際的な取り組みを学びます
	11:30-12:30	スタディビジット②：人と防災未来センター（神戸） 阪神・淡路大震災の教訓をもとに、防災教育や地域復興について学びます
	12:30-13:30	昼食休憩
	13:30-14:30	関西大学千里山キャンパスへの移動
	14:45-16:15	ダイアログ③：日本における Society 5.0 少子高齢化や地域課題に対する日本の先進的な取り組みについて、官・学・産の代表が議論します
	16:20-18:00	ローカル学生との対話「日本から世界へ：Society 5.0」 日本人学生との小グループ対話を通じて、Society 5.0 の価値や応用について意見交換を行います
	18:00-18:30	1日の振り返り・まとめセッション
10月4日（土）	9:00-10:30	ワークショップ③：ユースとデジタル化 デジタル技術が若者にもたらす機会と課題について、体験型の活動を通じて理解を深めます
	10:30-11:00	コーヒーブレイク
	11:00-12:30	ワークショップ④：学びを広げるための計画① 学んだことを地域社会に広げていく「マルチプレイヤー」としての行動計画を立てます
	12:30-14:00	昼食休憩
	14:00-15:30	ワークショップ⑤：学びを広げるための計画②（継続）
	15:30-16:00	コーヒーブレイク
	16:00-17:30	最終振り返り・まとめセッション
	17:30-21:00	閉会式および交流夕食会

12 その他

- (1) プログラムで使用するため、各自でパソコンは持参してください。
- (2) 本プログラムは、令和5年度文部科学省・大学の世界展開力強化事業による補助金を活用して実施いたします。
- (3) 本プログラム中に撮影した写真・映像等は、本学および関西大学・千葉大学の広報等に活用することをあらかじめご承知おきください。

以上